

結い 役員改選 新たな次の時代にむけて！！



誰もが生きやすい社会を目指して



新理事長 藤田文博

この度の役員改選で、2002年より23年間の長きにわたり社会福祉法人結いの活動の責を担ってごられた前田理事長が退任され、新たに公益財団法人林精神医学研究所副理事長であり岡山ひだまりの里病院院長の藤田文博氏が理事長に就任されました。

また前田理事長と同期に役員に就任された吉野一正理事が退任され、新たにNPO法人地域人権みんなの会代表である中島純男氏が理事に就任。長崎司監事が退任され鷺尾裕氏が監事に就任されました。

社会福祉法人結いができ24年。ヘルパー制度のなかった時代から、岡山市の就労継続支援B型事業所は100か所にまで増えました。時代は変わっても「障害があつても、障害がない人たちと同じように生きていきたい。」という人たちの想いをかなえるための理念は変わりません。藤田理事長を中心に役員・職員一丸となり、次の時代にむけて頑張っていきたいと思います。

私も微力ながら、社会福祉法人結いの運営に力になりたいと思つております。これからよろしくお願ひいたします。

新理事長 挨拶

大事なのは仲間の存在 集団の力!!

簡単に自己紹介をさせていただきます。37年前に林道倫精神科神経科病院に就職し、南雲先生や明石先生に精神科の面白さや奥の深さを学びました。学生の頃は、内科にも興味があり悩んだのですが、精神科を選んで良かったと自分では思っています。26年前に岡山ひだまりの里病院が開設され異動になりました。以来、現く影響しており、事業所の運営は難しくなっています。この歳になると昔は良かつたなあ」と懐かしく思うことが増え、現実の厳しさから逃避したくなることもあります。でも、この時大事なのは仲間の存在です。集団の力です。

社会福祉法人 結い
理事長 藤田文博

結い
だより

第78号
発行
社会福祉法人 結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1 203
TEL 086-206-7385
FAX 086-206-2801
発行責任者
藤田 文博

~結いの会 ボーリング大会~ 喜楽新規利用者が初優勝！



6月21日 (土) 岡山フェアレーンにてわくわく！9名、喜楽9名、O.B.1名総勢19名でボーリング大会が開催されました。

喜楽の新規利用者のIさんが優勝しました。2位(Tさん)と3位(Mさん)も喜楽の方となり上位独占となりました。1位のIさんは、喜楽で働きだして間もない利用者さんですが、今年の喜楽勢の圧勝に大きく貢献していました。

そして、順位とは別に用意していただきながら喜樂の方となりました。1位のIさんは、喜楽で働くのみさんが楽しみにしていた景品は、今のご時世を象徴しているお米が入っていました。これは、わざわざ喜ばれています。普段交流するとのない利用者さん同士の会話がはずんだり楽しんでいる姿もあり、とてもアットホームな大会となりました。(喜楽 職員)



優勝目指してがんばるぞ！

- A Q いま、物価高だけど?
A Q 一人暮らしはどうですか?
A Q 一人だと気が楽な時もあるけど、体調不良になると困る。
A Q 一人暮らしは何年?
A Q 8年になります。
Q それにはありますか?
A Q 何か目標はありますか?
A Q 日々気を付けていることは?
A Q 体調管理とお金の使い方です。
A Q 駐車場のある家に引っ越ししたいです。
A Q 無駄遣いをしないようにしています。
A Q 節約できる所から少しずつやつてみます。

一人暮らしをしている利用者さんに、生活についてお聞きしました。一人暮らしをしている利用者さんは、今年の喜楽勢の圧勝に大きく貢献していました。

一人暮らしってどんな？

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものではあります。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支えてくださいようよろしくお願い致します。

また、2025年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願い申し上げます。

<振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757

社会福祉法人「結い」後援会

(個人:年1口 千円 団体:年1口 3千円)



★「ワーカー・わくわく！」
クリーニングとお茶菓子の配達
会議食を含めた宅配弁当

tanoma(たのま)たのまは、会社の「この仕事、誰かにお願いしたいな?」といふ気持ちと、福祉事務所の出来ることがあれば手伝いたいな」をつなぐ新しいWEBサイトの仕組みです。岡山市が作ったもので、仕事を探す就労継続支援事業所と作業をお願いしたい会社の橋渡しをしています。

tanomaってなに?

先日岡山市障害福祉課の方がワーカー・わくわく!に来られ、利用者さんの作業の様子や支援の工夫について見学されました。

★「ワーカー・わくわく!」&「喜楽」
マッチングサイト『tanoma』に掲載中です!

特製唐揚げソース!! 喜楽 百間川ふれあいフェスティバルに 参加!



朝から会場には大勢の方が来場されました

みんなの頑張りの結果、準備していきたからあげ64パックと大学芋30パックは終了時間を持たずにつぶて完売!

地域の一員として、来年もぜひ積極的に出店して行きたいと思います!

喜楽特製 唐揚げと大学芋 完売!

今年は他店との差別化をはかるため、唐揚げにはたらこマヨペニーマスターの2種類のソースから、お客様に選んでもらえるようにしました。

出店場所は少し外れた所でしたが、みんなでお客様に声をかけがんばりました。お客様の中には宅配弁当屋喜楽を知っている方もいて、うれしく思いました。また、メンバーペンに声をかけられ初めて参加されたというお客様が作ることで、たくさんの仕事を行うことが可能です。まだまだ私たちちはお役に立てます!というPRを行いました。

4月20日(日)、百間川ふれあいフェスティバルに4名のメンバーが出勤。職員2名と合わせて総勢6名で販売してきました。

2024年度の障害福祉サービス収益は43,296,073円、人件費は27,149,697円で、人件費率は63.3%でした。経常増減差額は8,925,918円。将来的な施設整備に備え、420万円を事業定運営と成長にむけた準備を進めます。

利用者動向は一日平均利用者13.7名(延べ4,326名)で前年度より約2名減少。登録者は月平均30.8名、入退所者はともに8名で入れ替わりがありました。新規利用者8名のうち、5名は軽作業、3名は売店を選択。軽作業を選んだ5名全員が「自分のベースで働ける場」として「やき作業場」を選びました。

洗濯作業の収益は8,003,150円、費用は8,365,934円で362,784円の赤字となりました。作業の量が多く、また作業内容も複雑なため職員が中心となる場面が増えていました。新規利用者の5名は全員ゆったりした作業場を選んでいます。今後は安心して挑戦できる環境の整備が課題です。

Yショップの2024年度の収入は、

2024年度の喜楽運営状況は、見学が13件ありそのうち6名が契約に至りました。その結果、新たに9名の利用者が増えました。就職移行支援としては、2023年度末に就職した1名及び12月に就職した1名の定着支援を行いました。新規の受け入れは進みました。一日平均13名/延べ人数4,030の受け入れ目標に対しては、延べ人数では△184名の未達成になりました。しかし、前年度に比べると

個人宅の需要が増え、日替わり弁当の注文が大幅に伸びました。ただ物価高の上昇により材料費が高騰し原材料率が50%まで上がりました。また燃料費(ガソリン代)の高騰と合わせ、水道光熱費も前年度より10.4%増加し、値上げが視野に入っています。

配達件数が増えたことにより、配達員の負担が増加し、新たに冷凍弁当を検討しています。



宅配弁当屋喜楽

10,780,304円、費用は10,379,513円で400,791円の黒字となりました。新たな利用者が入り作業が分担され、接客・補充などの効率が向上しました。黒字分は自動釣銭機の導入に向けた積立金にしたいと思います。

Yショップ店内

宅配弁当屋喜楽
収益増だが、費用も増加
新たに冷凍弁当を検討中

延べ67名の利用者増となり、一人当たりの受け入れ報酬日額が前年度の8,309円から10,135円に上がったことで収入としては前年度より大きく伸び、障害福祉サービス収益は33,450,224円、費用は32,822,947円となりました。

2024年度 事業報告

洗濯作業・Yショップ事業

一人ひとりの挑戦を支える場へ

安心して通える
居場所づくりが課題

2024年度の障害福祉サービス収益は42,997円と前年度39,808円より増加しており、利用者の頑張りとそれを支える職員の支援が実を結びつつあります。2024年度から工賃の計算方式が見直されたなかでも、少しずつ前向きな変化が見られておりこれからも「働くこと」の喜びを実感できる環境づくりに力を入れていきます。

喜 樂

新規利用者が、増えました



Yショップ店内

延べ67名の利用者増となり、一人当たりの受け入れ報酬日額が前年度の8,309円から10,135円に上がったことで収入としては前年度より大きく伸び、障害福祉サービス収益は33,450,224円、費用は32,822,947円となりました。